

授業科目 心理測定法

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	言語
高橋 直樹		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】 心理学が科学として成立して、これまでに作り上げてきた「心」の測定法についての知見を示す。 まず、心理測定法の概念・歴史・方法などについて概観した後、測定の内容を「性格特性」「社会的行動」「認知機能」などの領域ごとに分類して、体験学習も交えながら、心理測定法に関わる重要な事項について学習する。 また、観察法やプロトコル法、及び、統計の理論と実際についても学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 「人間を測定するとはどういうことか」という問いに対して、自分なりの意見を述べることができる。 2. 心理測定概念・歴史・方法について説明できる。 3. 心理測定の各論について、要点を理解し、説明できる。 4. 統計の理論と実際について、説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間を測定するとはどういうことか			1, 2	講義
2	パーソナリティ・アセスメント			3	講義・実習
3	性格特性の測定			3	講義・実習
4	社会的行動の測定			3	講義・実習
5	認知機能の測定			3	講義・実習
6	観察法・プロトコル法			3	講義・実習
7	統計の理論と実際			4	講義・実習
8	試験			1, 2, 3, 4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし。適宜プリントを配布する。			
参考書		心理検査の実際	沢田丞司	新興医学出版社	2004
その他の資料		適宜プリントを配布する。			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
最終回の試験		本講義では受講生の座席指定をおこなう。			
出席状況		学生の積極的な授業参加を期待する。			
受講態度		遅刻・早退・授業中の私語や飲食などは、大幅な減点対象となる。			
		本講義の学習内容を、医療福祉の現場において活用しようとする姿勢が求められる。			